

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国際コミュニケーション		
科目基礎情報								
科目番号	0004			科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	創造工学科 (情報科学・工学系フロンティアコース)			対象学年	5			
開設期	後期			週時間数	2			
教科書/教材	No textbook required							
担当教員	アンドレア 畠山,佐藤 奈々恵							
到達目標								
1. 異文化コミュニケーション分野の重要な概念に関する英文を正しく理解し、内容について深く考察することができる。 2. 異文化理解・多文化共生の観点から社会を見つめ直す視点を養い、「グローバルエンジニア」として必要とされる考え方や態度を身につける。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安	
評価項目1	英文の意味とその内容の本質を正しく理解し、論理的な考察を加えることができる。		英文の意味とその内容の本質をおおむね正しく理解し、論理的な考察を加えることができる。		英文の意味内容を理解し、助言があれば論理的な考察を加えることができる。		左記に満たない。	
評価項目3	相手の意見を適切な態度で聞くことができ、与えられたテーマについて重要語句を正確に使いながら説明できる。		相手の意見を適切な態度で聞くことができ、与えられたテーマについて重要語句を使いながら説明できる。		相手の意見を適切な態度で聞くことができ、助言があれば与えられたテーマについて重要語句を使いながら説明できる。		左記に満たない。	
学科の到達目標項目との関係								
Ⅰ 人間性 1 Ⅰ 人間性 Ⅱ 実践性 2 Ⅱ 実践性 Ⅲ 国際性 3 Ⅲ 国際性 CP2 各系の工学的専門基礎知識, および実験・実習および演習・実技を通してその知識を社会実装に応用・実践できる力 5 CP2 各系の工学的専門基礎知識, および実験・実習および演習・実技を通してその知識を社会実装に応用・実践できる力 CP3 課題の本質を理解し, 正しい倫理観の下で, 自分の意見を論理的に表現できる力 6 CP3 課題の本質を理解し, 正しい倫理観の下で, 自分の意見を論理的に表現できる力 CP4 他者を理解・尊重し, 協働できるコミュニケーション能力と人間力 7 CP4 他者を理解・尊重し, 協働できるコミュニケーション能力と人間力 CP5 国際的素養を有し, 継続的に自ら学ぶ力 8 CP5 国際的素養を有し, 継続的に自ら学ぶ力								
教育方法等								
概要	「異文化コミュニケーション」をテーマにした英文を読み、異なる文化的背景をもつ相手とのやりとりにおける他者理解と、自己表現のための重要な概念を理解する。							
授業の進め方・方法	授業はテキストの読解・要約、音読、発表活動などを中心とする。プリントを多用するため、学期末まで保管と管理を徹底すること。 ※この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習として課題・演習などを実施し、評価の対象とします。 定期試験のための勉強時間も総合し、60時間の自学自習時間が必要です。							
注意点	※ 課題提出において剽窃行為は一切認めない。剽窃と判断された場合は、すべての課題点を0とする。 ※ 議論の対象となる文化圏・文化事象に敬意を払い、決して差別的・侮蔑的な発言や記述をしないこと。							
授業の属性・履修上の区分								
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	What is International Communication ? The difference between verbal and nonverbal.		Communication in Japan and international			
		2週	Verbal Communication		What is verbal communication ?			
		3週	Same Word, Different Meaning		It's all about context			
		4週	Intonation		How a different intonation can change everything.			
		5週	Sarcasm		How and when to use sarcasm			
		6週	Language Diversity		National and international			
		7週	Social Networking Services		The past and the now			
		8週	達成度試験					
	4thQ	9週	Nonverbal Communication		What defines nonverbal communication ?			
		10週	First Impressions		How do you see others and how do they see you ?			
		11週	Facial Expression and Body Language		Consciously and unconsciously used language			
		12週	Paralanguage and Eye Contact		Your face tell a story			
		13週	Visual Communication		The signs around you			
		14週	Scenarios		Situations that can happen or already have happened to all of us.			
		15週	Review and Conclusion		What did we learn and how do we use it ?			
		16週	定期試験					
評価割合								
	定期試験		達成度試験		課題・小テスト等		合計	
総合評価割合		40		35		25		100

基礎的能力	40	35	25	100
專門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0